

GO FLY

新北島中学校
学年通信 No18
2020.05.22. 発行



先日、髪の毛が伸びてきたので、行きつけの散髪屋に行きました。ここは、散髪をしてくれる人を指名することができます。編集長はいつも、”散髪がうまそうな”店長を指名してお願いしています。以下はそのときのたわいない話です。

店；やあ、久しぶりでんな。

編；いやあ、暑くなってきたからねえ。いつものように、カットお願ひします。

(店の奥に入ろうとすると・・・)

店；ちょっと待った！これをやることになってるんですわ。体温をはかることになってるんですよ。
ちょっと失礼。

(といって、なにやら、安物の子どものおもちゃのような体温計を額にかざしてくるのです。)

編；なにや、これ？

店；最新の体温計ですわ。額にかざすこと約1秒、すぐに体温をはかることができる。しかも非接触式やから衛生的にもバッチリ 36.5度 大丈夫ですね。

編；なるほどすごいなあ、でもこれちょっと子どもが遊ぶ、安物の水鉄砲のようやな。

店；アホなこというたらアカン、これ、けっこう高かったんでっせ。

編；それで、万が一、お客様の体温が37.5度以上あったらどうするん？

店；そもそも、体温が37.5度以上もあるような人が散髪には来ませんわ、アッハッハ。

編；それもそやけど、でもホンマにそういう人が来たらどうするん？ 帰ってもらうん？

店；じつはこの間、ちょっと太ったお客様が汗かきながら店にやって来やはって・・・

体温はかったら37.2度あったんです。「うわあ、37度もありますよ」といたら、「ワシ、もともと体温高いし、いま走って来たからちょっと高めなんやろ、だいじょうぶや」なんて言うんです。

編；それで？

店；わざわざこんなときに来てくれはった、だいじなだいじなお客さんです。それでなくても売り上げが下がってるのに、逃がすわけにはいきまへん。「そうですか、じゃ大丈夫ですね」とって散髪しました。最近は37.5度以上というのも、あんまり意味がないそうやし・・・

編；なるほど、「痛しかゆし」というところやな。ところで、売り上げはやっぱりきびしい？

店；5月はまだマシやけど、4月はきびしかったなあ。約60%減でっせ。

編；なるほど、たいへんやな。

店；休業要請は出てへんかったから、60%減で済んだけど、要請が出てたらアウトやったやろうな・・・こんなアホなことも言うてられへんとこやった。

ということで、先生からはいつもの2倍の料金いただきまっせ！

どこもたいへんです。「お疲れさま」「ありがとう」「がんばって」・・・かけることばはいくつもあると感じました。